

学校教育目標
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒
協力 協力し、励ましあう生徒
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.16

令和6年 3月6日

市川市立第八中学校
校長 岡 良和

☆スマホで見やすいレイアウトに変更しました☆

学校評価アンケートについて

(2/17:PTA運営委員会でお伝えしています)

市川市学校評価アンケート全体結果が公表されました。

下表の数字は、学校教育活動を4つの項目・合計14の設問で肯定的なご意見の割合を%で示し、市内中学校の平均値と八中を比較したものです。

12月結果	市川市	八中	比較
確かな学力	64%	67%	+3
豊かな心	88%	91%	+3
健やかな体	74%	79%	+5
信頼される学校	78%	79%	+1

4つの項目すべてで市内平均を上回った状況です。この結果は、「八中ブランド力」の強まりとともに、家庭、地域の皆様のご理解とサポートの大きさを示すものであり、改めて感謝申し上げます。

☆学校評価:6月・12月の詳細結果は、

八中HP『特別連絡』でご覧になれます☆

求められる人材

(2/17:PTA運営委員会でお伝えしています)

経団連(日本経済団体連合会)が、例年行う調査で、大学生の新卒採用において、企業が選考に当たってとくに重視した点のランキングが公開されています。すなわち、「我が社が求めている人材は、こんな資質の持ち主」ランキングであり、結果は、次の表のとおりです。

1位	主体性	84.0%	…主体的
2位	チームワーク・リーダーシップ・協調性	76.9%	…対話的
3位	実行力	48.1%	…深い学び
4位	学び続ける力	36.2%	(学びに向かう力・人間性)

学校は、人材育成を担う教育機関ですから、行う教育活動は、経団連調査結果の方向性と共通する部分があります。

そのベースとなっているのが、文科省が示す「学習指導要領」です。

令和3年度に刷新された学習指導要領は、「主体的・対話的・深い学び」を

通して、

- ①知識・技能
- ②思考力・判断力・表現力
- ③主体的に学びに向かう力・人間性

以上3つの観点から子どもたちの能力を伸ばそうとするもので、八中教育目標「自主・協力・継続」とも重なります。

このことに連動して高校入試問題の傾向も変化し、単純に知識量をはかる問題に加え、示されたいくつかの資料を関連づけて、思考・判断し、解答を導き出す問題が目立つようになりました。

八中ブログで、授業の様子をご覧になったときに、このことを思い出していただくと、「なるほど」と感じるころがあると思います。子どもたちは、日々「主体的・対話的・深い学び」を行っています。

次年度のお知らせ

職員会議および学校運営協議会で、次年度の『学校経営方針』、『教育課程』等を協議するなかで、読書に親しむ習慣作りをより一層重視し、『豊かな心』の育成につなげる手立てを検討しています。手立ての一つとして、毎日の朝読書の時間を5分伸ばし「豊かな心」を育てる活動の一端とする予定です。

2024 修学旅行 6月11日出発

JTB及び石川県観光戦略部からの状況報告(3月1日時点)をもとに北陸方面で実施する予定です。

■首都圏中学校の動向■

石川県への修学旅行を計画している中学校の約83%が、実施予定。他は、目的地変更などの動きあり。

■宿泊施設の動向■

ANA クラウンホテル…通常営業
葉渡莉…被災者受け入れ施設として稼働中(5月から通常営業予定)

■直近1か月の余震回数■

	金沢市	加賀市
震度3以上	0回	0回
震度2	1回	1回
震度1	3回	8回

■観光施設■

通常営業中(一部に調整中あり)

4月の三学年保護者会で、最新の状況等、詳細をお伝えいたします。